

さまざまな国際問題

1 単元のねらい

国際社会に見られる，地球環境，資源・エネルギー，貧困などの諸課題についての学習を通して，それらの解決のためには，地球規模での経済的，技術的な協力が必要であることに気付き，持続可能の視点をもって，主体的に解決に向けた取り組みを行いたいという態度や意欲を養うことができる。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	国際社会の抱える諸課題を捉え，その解決に向けた取り組みについて理解している。 諸課題の解決には地球規模での経済的，技術的な協力などが大切であることを理解している。	持続可能な視点から国際社会の抱える諸課題の解決について様々な視点から多面的・多角的に考察し，表現している。	国際社会の抱える諸課題について自分事として関心を高め，課題の解決に主体的に参画しようとしている。

●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価

	1	2	3	4	5
知識・技能	●○	●○			
思考・判断・表現			●	●	○
主体的に学習に取り組む態度	●				○

3 単元構造図（全5時間） ☆獲得する認識

<p>単元名 さまざまな国際問題</p>	<p>単元学習前の生徒の意識 最近、世界に関するさまざまな問題が起きているな。どんな問題があるのか調べていきたい。</p>
--------------------------	--

第1時 地球環境問題 【●◎知識 技能】
環境問題の解決に向けて、世界ではどのような取り組みをしているのぞろ

人々が便利な生活を追い求めたことで環境問題は深刻な状況となっている。地球温暖化への対策をはじめ地球環境を守るために国際的な条約を結んだり、世界中の人々が集まって、これからの環境について話し合ったりしてい

国際社会が抱える問題を解決するには、どうするとよいだろう。

第2時 資源 エネルギー 問題 【●◎知識 技能】
エネルギー 問題の解決に向けて、どのような取り組みをしているのぞろ

世界で使われるエネルギーの多くが化石燃料に依存している。日本も例外ではなく、資源を輸入に頼っていることで、価格の上昇が産業の面にも大きな影響を与えている。世界的なエネルギー需要が高まる中、環境にも優しく、十分な電力の確保も行える再生可能エネルギーの開発が課題となってい

第3時 貧困問題 【●◎思考 判断 表現】
人口増加による貧困問題の解決に向けて、世界ではどのような取り組みが必要なのか

地球の人口が増加して、途上国では人口の増加に経済の発展が追いついていない。社会資本の未整備、医療、教育などが不十分なため、貧困問題が起きている。また、食料が足りずに飢餓状態になっ

第4時 新しい戦争 【●◎思考 判断 表現】
戦争のない平和な世界にするために、世界ではどのような取り組みが必要なのか

これまでは、国同士が戦うことが戦争だったけれど、冷戦が終結に向かってからは、地域紛争の形で戦争が起きていたり、テロリズムが起きていたりする。このような争いをなくすためにも、世界協調での

第2時 難民問題 【主体的に学習に取り組む態度 〇思考・判断・表現】

難民問題の解決に向けて、世界でどのような取り組みが必要なのか

第2次世界大戦以降、世界では紛争や気候変動などによって難民が増加している。国連でも難民に対しての支援が行われているが、C.D.C.の視点から見ると、紛争などの根本的な解決をしなければ真の解決にはつながらない。

単元学習後の生徒の意識

世界は多くの問題を抱えており、持続可能な社会の実現に向けてこれらの問題を解決していかなければならない。そのために

は、自らの国の利益を初めとして考えなくてはならない。世界全体の利益が地球規模の視点から、協調が持続可能性を高める

4 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準・場面・方法	資料及び指導・援助
1 地球環境問題	<p>地球環境問題のメカニズムとその取り組みの様子を調べる活動を通して、地球環境問題の解決に向けて国際的な動きを理解することができる。</p> <p>☆地球温暖化 ☆温室効果ガス ☆国連環境開発会議 ☆持続可能な開発 ☆京都議定書 ☆パリ協定</p>	<p>1 写真と資料から、現在の地球環境はどうなっているのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂漠化や酸性雨の問題がある。 ・地球温暖化が進んでおり、二酸化炭素を排出しているのは先進国である。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">環境問題の解決に向けて、世界ではどのような</p> <p>2 環境問題に対する取り組みを調べ、意見交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国連環境開発会議（地球サミット）が開かれている。 ・地球環境の保全と持続可能な開発が目指されている。 ・温室効果ガスの排出削減を定めた京都議定書が採択されている。 <p>3 本時のまとめ</p> <p>4 単元のまとめを設定する</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">国際社会が抱える問題を解決するには、どうするとよいだろう。</p>	<p>環境汚染や自然破壊が地球規模の問題であり、国際的な課題となっていることが分かり、その知識を身に付けている。 (知・技)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇さまざまな地球環境問題（写真） ◇地球温暖化の仕組み（図） ◇世界の二酸化炭素排出量（グラフ） ◇主な国・地域の一人あたり二酸化炭素排出量（グラフ） ◇国連環境開発会議 <p>各種のグラフに表わされた数値や変化の度合いを正確に読み取るよう助言することで、環境汚染の問題点が考えられるようにする。</p>
<p>人々が便利な生活を追い求めたことで環境問題は深刻な状況となっている。地球温暖化への対策をはじめ地球環境を守るために国際的な条約を結んだり、世界中の人々が集まって、これからの環境について話し合ったりしている。まずは、世界が抱える様々な課題を持続可能な社会の視点から、私たちができることを生活の中で取り組めることを考えていく必要がある。</p>				
2 資源・エネルギー問題	<p>世界のエネルギー事情や日本のエネルギー依存について調べる活動を通して、先進工業国と発展途上国とのエネルギー需給の不均衡の様子やエネルギー問題の解決策を統計資料から考えることができる。</p> <p>☆化石燃料 ☆水力 ☆火力 ☆原子力 ☆再生可能エネルギー</p>	<p>1 資料からエネルギー事情について調べ、意見を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域によってたくさん取れる地域とそうでない地域がある。 ・化石燃料は、可採年数が限られている。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">エネルギー問題の解決に向けて、どのような取</p> <p>2 エネルギー問題に対する取り組みを調べ、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業エネルギー量は1970年代から増加していないが、家庭でのエネルギー量は増加している。 ・発電量が多く、安定している原子力発電にも放射性物質などの課題点がある。 ・環境に優しい再生可能エネルギーの期待が高まっているが、課題点も多い。 ・技術の向上によって新しいエネルギーの開発にも取り掛かっている。 <p>3 本時のまとめ</p>	<p>資源・エネルギー問題に関する資料を、正確に読み取り分析している。 (知・技)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇世界のエネルギー消費量（地図） ◇化石燃料の可採埋蔵量と可採年数（グラフ） ◇国・地域別のエネルギー消費量の見通し（グラフ） ◇家庭用燃料電池熱電供給システム（写真） ◇新しいエネルギー資源 <p>資源に関わる資料とエネルギー消費に関わる資料を結び付けるように助言することで、問題点に気づけるように支援する。</p>
<p>世界で使われるエネルギーの多くが化石燃料に依存している。日本も例外ではなく、資源を輸入に頼っていることで、価格の上昇が産業の面にも大きな影響を与えている。世界的なエネルギー需要が高まる中、環境にも優しく、十分な電力の確保も行える再生可能エネルギーの開発が課題となっている。</p>				

<p>3 貧困問題</p>	<p>産業の未発達や貧富の差の拡大などの様々な要因によって貧困が起きていることに気づき、解決のために必要なものを考察することができる。</p> <p>☆貧困 ☆飢餓 ☆SDGs ☆フェアトレード ☆マイクロクレジット</p>	<p>1 世界の将来人口を確認し、ハンガーマップから気づいたことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ州は栄養不足の人が多い。 ・先進国では栄養不足の人が少ない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>人口増加による貧困問題の解決に向けて、世</p> </div> <p>2 貧困の背景について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業の未発達、雇用の不足がある。 ・社会資本の未整備 ・医療サービスの不足 ・社会保障制度の不備 ・教育機会の不足 <p>3 貧困の現状について調べ、SDGsの視点から問題の解決に向けて必要なものについて考察し、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10億人もの人が1日1.25ドル未満で生活している。 ・栄養不足は、平均寿命にもつながっている。 ・食料などの支援だけでなく、自立につながる支援が必要だ。 ・たくさんの子供たちがいるからこそ、将来にわたっての貧困にならないように、教育に力を入れることが必要だ。 <p>4 本時のまとめ</p> <p>地球の人口が増加して、途上国では人口の増加に経済の発展が追いついていない。社会資本の未整備、医療、教育などが不十分なため、貧困問題が起きている。また、食料が足りずに飢餓状態になっている国もある。そのために国連ではSDGsを設定し、目標の達成に向けての歩みを進めている。自分にも取り組めることを生活の中で見出したい。</p>	<p>貧困問題が起こる背景を多面的・多角的に考え、SDGsの視点から解決に向けた取り組みの在り方について、発表やまとめを行っている。</p> <p>(思・判・表)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇地域別の将来人口(グラフ) ◇ハンガーマップ(図) ◇飢餓に苦しむ子ども(写真) ◇貧困の実態(グラフ) ◇日本とアメリカの食品廃棄物と、世界の食糧援助の量(図) ◇フェアトレード資料(写真) ◇マイクロクレジット(写真・図) <p>日本との比較を通して、途上国が抱える貧困の実態をつかめるように支援する。</p>
<p>4 新しい戦争</p>	<p>地域紛争の原因を調べる活動を通して、地域紛争にはこれまでの国際関係や貧困などが関わっていることに気づき、格差の解消が必要であると考え、表現することができる。</p> <p>☆地域紛争 ☆民族紛争 ☆テロリズム ☆軍縮 ☆核拡散防止条約</p>	<p>1 今の世界は平和だと思うか、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシアとウクライナの戦争が続いているから平和ではない。 ・戦争をしていないところの方が多から平和だと言える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>戦争のない平和な世界にするために、世界では</p> </div> <p>2 第2次世界大戦以降の戦争について確認し、その原因を考察する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域紛争やテロリズムといった、国同士の争いではない形の戦争が起きている。 ・宗教による対立から争いに発展している。 ・政治家と国民の反発から内戦につながっている。 ・貧富の差に対する不満から武力による衝突に発展している。 <p>3 軍縮の動きについて確認をする。</p> <p>4 新しい戦争をなくすために、どうすればよいか班で交流をし、各自でまとめる。</p>	<p>地域紛争を含め、新しい戦争が各地で頻発している原因について多面的・多角的に考え、発表やまとめを行っている。</p> <p>(思・判・表)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇同時多発テロ(写真) ◇世界の核保有国の保有数(図) ◇世界各国の軍事支出(グラフ) ◇核・軍縮問題関連年表 <p>これまでの戦争と新しい戦争を比較して考察できるように声をかけ、原因を浮き彫りにした上で、戦争をなくすための取り組みについて考察できるように支援する。</p>

		<p>これまでは、国同士が戦うことが戦争だったけれど、冷戦が終結に向かってからは、地域紛争の形で戦争が起きていたり、テロリズムが起きていたりする。このような争いをなくすためにも、世界のいくつかの国ではなく、世界全体が協調の姿勢での軍縮を進めていく必要がある。</p>		
<p>5 難民問題</p>	<p>難民問題の現状についての資料を読み取る活動を通して、難民問題の解決には「SDG s」と「国際協調」の視点が欠かせないことに気付き、自らの考えを表現することができる。 ☆難民</p>	<p>1 日本がシリアのような状況になったらどうするかを交流する。 ・日本から逃げ出す。 ・国民で協力してデモを起こす。</p> <p>2 難民とは、どのような人たちのことを指すのか確認する。</p> <div data-bbox="443 577 1011 658" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>難民問題の解決のために、世界ではどのような</p> </div> <p>3 難民問題の解決に向けての取り組みと問題点の事実を読み取る。 ・難民であっても教育が受けられるようになっている。 ・国際組織が食料や水などを支援している。 ・難民が多すぎて対応しきれない。 ・難民の受け入れに否定的な人もいる。</p> <p>4 難民問題を解決に向けて、どのような取り組みが必要なのか、「SDG s」と「国際協調」の視点から自分の考えをまとめ、班で交流する。</p>	<p>どのような人々が難民と呼ばれるのかを理解し、「SDG s」と「国際協調」の視点から解決に向けた取り組みの在り方について考え、表現することができている。 (思・判・表)</p> <p>難民に関わる諸資料から自分の考えをもち、難民問題の解決に向けた取り組みについて、主体的に意見交流することができている (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>◇内戦で破壊された街(写真) ◇トルコからギリシャにわたる難民(写真) ◇ドイツへの移民・難民の移動経路(地図) ◇世界の難民発生数と第二次世界大戦後の主な地域紛争</p> <p>◇難民条約に定められた難民の定義(文書)</p> <p>◇シリア難民への教育(写真) ◇国連難民高等弁務官事務所の食糧支援(写真) ◇移民・難民の受け入れに反対するデモ</p>
		<p>第2次世界大戦以降、世界では紛争や気候変動などによって難民が増加している。国連でも難民に対しての支援が行われているが、SDG sの視点から見ても、紛争などの根本的な解決をしなければ真の解決にはつながらない。</p>		